

令和3年度始良・伊佐地区研究協力校「道德教育」
霧島市立青葉小学校道德教育研修会

1 研究主題

(1) 地区研究主題

「考え、議論する道德」に向けた授業の在り方

(2) 会場校研究テーマ

進んで自分の考えをもち、他者に分かりやすく伝え合う児童の育成

2 研修報告

令和2年度道德教育指導者研修に参加した、霧島市立青葉小学校 黒岩正一教諭が、研修内容と青葉小の実践について報告しました。研修内容については、学習指導要領の内容を基に「特別の教科道德の指導と評価」をどのように考え、指導していけばよいのかについての説明でした。また、青葉小の実践については、自分との関わりで捉えさせて考えさせるための「一週間サイクル」と、多面的・多角的に考えたり捉えさせたりさせるための「ロイロノートの活用」についての実践紹介でした。

3 研究授業

青葉小学校では、3年生と6年生の2学年で研究授業を行いました。

3年生では、後藤祐紀教諭が「どんどん橋のできごと」の教材を使って授業を行いました。導入では、一週間サイクルを活用し、「やってしまったという自分の経験」を想起させ、問題意識を自分事としてもちました。また、心情メーターの活用によって内面を可視化し、友達の考えとの比較や細やかな葛藤の様子を視覚的に表現しました。そのことが、活発な意見交流や深まりのある議論につながりました。

6年生では、小松なつき教諭が「自由行動」の教材を使って授業を行いました。導入では、一週間サイクルの日記を基に「自由を実現する難しさ」を自分事として考えました。また、ロイロノートを活用してグループ内の考えを共有し、ロイロノートにまとめて比較させることで、多面的・多角的に考えました。



【3年生の研究協議の様子】



【6年生の研究協議の様子】

4 分科会

分科会では、3年生と6年生に分かれ、授業研究・研究協議を行いました。授業研究では、会場校研究テーマに沿って、自分との関わりで捉えて考えさせるための「一週間サイクルの活用」の効果について、また、多面的・多角的に考えたり捉えたりするための「ロイロノートの活用」の効果について意見交換を行いました。研究協議では、地区研究主題である「考え、議論する道徳」の充実に向けてグループで協議を行いました。

授業研究・研究協議の中で出された意見の主な内容は、以下のとおりです。

【3年生分科会】

- 一週間サイクルを基に自分の経験を振り返ることで、自分との関わりで捉えて考えたり、問題意識を高めたりすることができていた。
- 葛藤場面において心情メーターを活用することで、自分の行動を支える心情を視覚的に捉えることができ、活発な交流につながった。
- ロイロノート等による視覚的な意見交流によって、考えを深め合うことには個人差があった。

【6年生分科会】

- 一週間サイクルに取り組むことで、自分なりの考えをもち、自分事として主題を捉えることができた。
- ロイロノートを活用することで、友達の多様な考えに触れ、多面的・多角的に考えることができた。
- ロイロノートの活用による意見交流によって、様々な考えに触れることができたが、最後まで自分の考えをまとめることができていない児童もいた。



【グループ協議の様子】

【青葉小の特徴的な取組】

自分事として捉える「一週間サイクル」の活用



一週間サイクルとは、生活体験を想起し、自分との関わりで捉えさせて考えるために、授業で扱う主題を子供たちに一週間前に伝え、意識して生活させ、関係する体験をカードに書かせ掲示をしている。友達の体験を見て、自分の体験を想起できるように工夫している。